



八潮市道路陥没事故調査等特別委員会が 設置されました

今回の事故は、公共インフラである下水道管の破損に起因すると思われる大規模な道路陥没という重大な事案であり、老朽インフラの管理体制や危機対応の在り方が問われています。

本県議会は、事故で日常生活や事業活動に影響を受けた県民や事業者への対応、さらには今回のような事故を未然に防ぎ、県土を強靱化させるために必要なインフラの老朽化対策が十分に確保されるよう特別委員会を設置し、議論を進めてまいります。

審査事項

- 事故対応及びこれまでの工事の経過
- 今後の復旧工事
- 振動・騒音、臭気等の環境対策
- 地域住民への対応状況
- 補償の方向性について

委員会風景



※委員名簿は4面参照

八潮市道路陥没事故に関する意見書・決議

6月27日の委員会では以下の通り、国に対して対応を求める意見書および県に対して対応を求める決議を全会一致で提出することとしました。

- 下水道の強靱化予算の確保を求める意見書
- 社会資本施設に起因する事故等発生時における補償制度の構築を求める意見書
- 道路陥没事故に係る住民・事業者への速やかな補償を求める決議

上記の意見書・決議は7月2日の本会議において、全会一致で可決しました。



詳細はこちら



マチイロ

議会だよりをスマホで読めます。



ブックシェルフ埼玉

議会だよりを電子書籍で読めます。



X 県議会公式 X

県議会の最新情報を発信します。



県議会マスコット「ポッコ」

6月定例会の動き

6月12日(木)から7月2日(水)までの21日間にわたり開かれました。

6月12日

開会日

知事提出議案について、知事から提案説明が行われました。

6月18日・19日・20日・
23日・24日

一般質問

15人の議員が質疑・質問を行い、活発な論議がなされました。

6月18日には八潮市道路陥没事故調査等特別委員会の設置および委員の選任が行われました。

6月24日には知事追加提出議案について、知事から提案説明が行われました。(2・3面)

6月26日

常任委員会

補正予算・条例などの議案の審査などが行われました。(4面)

6月27日・30日

特別委員会

付託案件の審査が行われました。(4面)

7月2日

閉会日

各委員会の委員長報告を受けて討論・採決が行われました。

議決の概要

●知事提出議案

●令和7年度埼玉県一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算補正額 58億6,298万8千円

- ・高校生等への修学支援の拡充
- ・国の令和6年度補正予算への対応 など

●令和7年度埼玉県流域下水道事業会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算補正額 41億1,030万8千円

- ・下水道管の破損及び道路陥没の復旧工事費などを計上

●令和7年度埼玉県一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算補正額 34億4,173万4千円

- ・LPガス料金の高騰による負担を軽減するため、販売事業者を通じ、価格高騰の影響分の一部補助 など

●埼玉県職員定数条例の一部を改正する条例

- ・下水道管の破損に起因する道路陥没事故対応の体制を強化するため、下水道局の定数を12人増員するもの
- など15件を可決、1件を承認、3件に同意

●議員提出議案 (条例については4面に記載)

●リチウム蓄電池等の適正処理の更なる推進を求める意見書

●外国免許切替制度の早急な厳格化を求める意見書

など19件を可決



議案別会派別表決状況はこちら▶



議案一覧はこちら▶

一般質問

6 月定例会の一般質問は、6 月 18 日から行われました。15 人の議員が質疑・質問を行い、活発な論議がなされました。



議長
白土幸仁



副議長
飯塚俊彦



▲本会議の様子

ホームページで
ご覧になれます



◀一般質問の質疑
質問・答弁の全
文はこちらから
ご覧になれます

6月18日(水曜日)



ヤングケアラー（＊１）・
若者ケアラー支援の更なる
推進について



内沼博史（自民） 西第3区 飯能市

Q ケアラーの中でも特にヤングケアラーは、本人に自覚がなく相談につながりにくいことから顕在化しづらいと言われている。次の時代を担うヤングケアラーや若者ケアラーへの支援は特に重要と考えるが、今後、支援をどのように強化していくのか、県の取り組みを伺う。

A 気軽に悩みや不安を打ち明けられるようLINE相談やメタバース空間（＊２）でのオンラインサロンを実施。令和7年度は新たに大学教職員や、親の通院に付き添うヤングケアラーなどに接する医療従事者に研修を実施し、周囲の大人の理解を深め支援を強化していく。



医療的ケアを必要とする子供の
給食におけるシリンジ（注
射器）注入（＊３）について



小川寿士（民主フォーラム） 南第4区 さいたま市北区

Q 県立特別支援学校では、個別に検討の上で看護教員がシリンジ注入を行っている事例もあるが、医療的ケア実施ガイドラインではシリンジ注入の指針が示されていない。保護者が対応できない場合、教職員が実施できるようガイドラインの策定が必要と考えるが見解を伺う。

A シリンジ注入による給食を安心安全に提供するには給食室での衛生的な調理体制の確立、注入を担う学校職員の技術向上、人員確保などが必要。実施事例や近隣自治体の取り組みを参考にし、課題を丁寧に検討しながらスピード感を持ってガイドラインの策定に取り組む。



リチウムイオン電池につ
いて



萩原一寿（公明） 南第2区 川口市

Q リチウムイオン電池に起因する火災の発生件数や現状と課題を伺う。また、広域回収・資源化モデル事業のスケジュールと全市町村への啓発、県民の意識向上につながる広報をどのように強化するのか。さらに、県内事業者による回収も進めるべきと考えるが見解を伺う。

A 令和5年度930件発生。分別回収率の向上と適正な排出方法の周知が課題と考える。県内6市で分別回収を試行、本年度中に全市町村にマニュアルを配布し説明会を実施したい。SNSの活用など県民の行動変容につながるよう啓発を工夫。小売店での回収も検討する。

6月19日(木曜日)



「住むなら埼玉」について
子育て世代に向けた戦略
的な展開



松本義明（自民） 西第2区 入間市

Q 移住に興味がある理由として、子育てに適した自然環境が上位に挙げられており、本県にはそれに応えられるポテンシャルがある。豊かな自然と利便性を最大限に生かし、子育て世代をターゲットとした移住促進を今後どのように戦略的に展開していくのか見解を伺う。

A 都心部在住の子育て世代をターゲットにさまざまな施策を展開。移住ポータルサイトの子育て世代向け検索機能の拡充や、デジタルサイネージを活用した移住動画の配信など積極的な情報発信を行うほか、セミナーや都内でのイベントなど官民連携で移住施策を推進する。



東京2025デフリン
ピック（＊４）について



金野桃子（県民） 南第20区 戸田市

Q 選手のトレーニング環境を聞き取り、今後に向けた環境整備をできないか。また、競技の特徴、選手のPR動画配信などの魅力の周知や、県ゆかりの選手が出場する試合に県民に観戦を呼び掛けてはどうか。共生社会実現に向けてスポーツに寄せられる期待を伺う。

A 選手一人ひとりの要望を聞き取り個別サポートを実施している。選手情報などを県ホームページで随時発信予定。魅力を発信し多くの県民が観戦するように働き掛ける。本大会が共生社会づくりの大切さを県民に伝えてくれる大きな原動力になることを期待する。



外国免許切替制度の厳格
化 外免切替の手續きと
合格率



林 薫（自民） 南第10区 さいたま市南区

Q 国において外国人が自国などで取得した運転免許を日本の運転免許に切り替える、いわゆる外免切替を厳格化する方針が示された。報道では外国人が外免切替制度により日本の免許を取得することは簡単とされているが、制度の手續きおよび合格率について伺う。

A 外国の運転免許や運転経歴を確認する事前審査の後、視力などの適性試験、安全運転に必要な知識を確認する知識確認および実車による運転技能を確認する技能確認をそれぞれ審査している。審査の結果、日本の運転免許取得は令和6年中は38.7パーセントであった。

6月20日(金曜日)



持続可能な子どもの居場
所の構築について



金子裕太（自民） 南第16区 鴻巣市

Q こどもの居場所づくりの運営は地域間・団体間で支援の格差が見受けられる。こども応援ネットワーク埼玉（＊５）の機能を総合的な寄付・物資支援窓口とし、寄付依頼や物資確保のアプローチから各団体への実効的な支援まで一貫して担える体制に強化する考えはないか伺う。

A 地域や団体の格差は団体へのアンケート調査などで実態を把握し対応していく。持続可能な運営のためには、当該ネットワークが全ての支援機能を担うのではなく、地域ネットワークなどがそれぞれの機能を担い重層的に支えていくことが重要。今後も体制強化に取り組む。



補聴器助成制度の創設を



伊藤はつみ（共産党） 西第5区 ふじみ野市・三芳町

Q 認知症の予防には加齢性難聴を早期に発見し、対応することが必要。加齢性難聴者の補聴器購入助成を実施する市町村が全国や県内で広がっている中、こうした広がりをもどのように感じているのか。県も補聴器助成制度を創設し、市町村を支援してほしいが、見解を伺う。

A 補聴器購入助成は、人との交流や社会参加を促し、孤立防止や介護予防のための「聞こえ」の取り組みとして、市町村が地域の実情に応じて実施しているものと考えている。今後も、市町村では確保が難しい言語聴覚士などの派遣や、ノウハウの提供などにより支援していく。



地域未来投資促進法（＊
６）による市街化調整区
域（＊７）の活用について



森 伊久磨（自民） 東第5区 蓮田市

Q 重点促進区域設定の実績がゼロの理由は。人口減少や担い手不足、産業の効率化などを図るため、継続すべき農地は維持し、産業立地に適した土地はその振興を図ることで、土地活用の整理を行っていくべき。促進法を利用した市街化調整区域の今後の活用について、所見を伺う。

A 重点促進区域について市町村から相談はあったが、土地利用関係の諸計画との整合を図ることができず、設定には至っていない。議員指摘の通り、産業立地に適した土地について、幹線道路の整備状況や周辺環境を考慮し、適切な開発を誘導していきたい。

用語解説

- ＊１ ヤングケアラー
本来大人がすると想定されているような家事や家族の世話などのケアを日常的に行っている18歳未満の若者のこと。
- ＊２ メタバース空間
インターネット上の仮想空間。
- ＊３ 給食におけるシリンジ（注射器）注入
食事を粒のないペースト状にして、胃ろうからシリンジで注入する方法。本来の食事に近い状態で栄養を摂取できる。
- ＊４ デフリンピック
国際的な「きこえない・きこえにくい

人のためのオリンピック。国際ろう者スポーツ委員会（ICSID）が主催し、4年ごとに開催される。

- ＊５ こども応援ネットワーク埼玉
社会貢献活動を行う団体・個人が集まる官民連携プラットフォームで、ポータルサイトやフェイスブックによる情報発信や、支援先のマッチングを行っている。
- ＊６ 地域未来投資促進法
都道府県と市町村が共同して定めた「基本計画」に基づき、企業が「地域経済けん引事業計画」を作成し、知事から承認を得ることで、税制上の優遇措置などの支援が受けられるもの。また、重点促進区域の設定は、国から承認を受けると、市街化調整区域などにおける開発許可の手續きに関する配慮を受けることができる。
- ＊７ 市街化調整区域
都市計画法によって指定される特定の地域で、市街化を抑制すべき区域。新たな建物の建築が原則として制限されている。
- ＊８ 和文化フェスタ
伝統芸能やいけばな、和太鼓や箏（こ

と）の演奏など埼玉県内の和文化を集めた和のフェスティバル。

- ＊９ リカレント教育
職業人を中心とした社会人に対して学校教育の修了後、一旦社会に出た後にけられる教育。再就職や職業能力の向上を目的に学ぶ場合に限らず、心の豊かさや生きがいのために学ぶ場合、学校教育以外の場で学ぶ場合も含めた広い意味で使われている。

6月23日(月曜日)



県の魅力発信について



松井 弘 (自民) 南第21区 朝霞市

Q 伝統的な祭りや文化的な行事など和文を軸とした魅力発信について、これまでにどのような成果が得られているのか。また、今後、和文を含めた県の魅力発信をさらに拡大・強化し、地域住民の主体的な参加を促すために県としてどのように取り組むのか、見解を伺う。

A 和文フェスタ(※8)は3年間で4万人以上が来場しアンケートでも9割以上が伝統文化に興味を持ったと回答。今後は伝統文化のイベント情報を発信するアプリの制作や、市町村や関係団体などと連携した広報、体験会などの手法を組み合わせ、本県の魅力を発信する。



安心な医療体制構築に向けて 総合診療医を増やす取組を



野本 怜子 (民主フォーラム) 南第9区 さいたま市浦和区

Q 本県では総合診療医の専攻医数は少数。新しい診療科のため、キャリアパスに不安を抱く学生や初期研修医も多いと聞く。県全体として総合診療医を増やすため、キャリア設計支援や、リカレント教育(※9)に力を入れるなどの施策も考えるべきと思うが、見解を伺う。

A 県では奨学金貸与者に対して現役医師などがキャリア形成の相談を行い、学生や初期研修医の不安解消に努めている。今年度から始まる国の総合診療医の研修など、リカレント教育を推進する事業を県も活用するほか、関係者の声を伺い総合診療医を増やす方策を検討する。



介護支援専門員(ケアマネ)の処遇についての県としての支援について



渡辺 大 (自民) 西第5区 ふじみ野市・三芳町

Q ケアマネは処遇改善加算も夜勤もなく、介護職員より給与面で劣ることも。ケアマネになるインセンティブが働かず人材不足になっている。居宅系では取扱件数が増えると基本報酬が逓減するため、給与は増えずより多忙になる。ケアマネの処遇改善について、所見を伺う。

A ケアマネは介護保険サービスの要として不可欠な存在であり、職責に見合った報酬となるよう、国が適切な介護報酬などを設定すべき。昨年度の介護報酬改定でも改定の恩恵を受けているとは言えない。現状を踏まえ、職責に見合った処遇となるよう国に強く要望していく。

6月24日(火曜日)



県として大宮公園開設140周年をどのように展開していくのか



関根 信明 (自民) 南第4区 さいたま市北区

Q 大宮公園は明治18年に開設された県内初の県営公園。140周年記念行事を県として大いにやっていくべきと考える。また、140周年がわかる看板の設置や記念展示、JR東日本とのコラボ、県広報誌やホームページへの特集などを進めるべきと考えるが、所見を伺う。

A 記念事業として料亭跡地にある日本庭園の改修を行う。大宮公園の思い出写真展やボランティアによる桜の記念植樹など県民参加型の行事も計画。デジタルサイネージや県のSNSなども活用する。議員提案のコラボも検討したい。多くの方に来園いただけるよう取り組む。



県庁舎建替えに伴う現在地の活用について



浅井 明 (自民) 東第8区 越谷市

Q 県民アンケートで現在地より移転での再整備を希望する意見が多かったと聞く。仮に浦和美園に移転する場合でも、再移転時には現在地に戻ることを見据え現在地に定期借地権を設定し、民間に貸し付けて賃料を再整備の資金とする案を検討すべきと考えるが、所見を伺う。

A 県庁舎の位置は、技術的側面からの検討を進め最終的に決定したい。選定されなかった候補地の活用方法も重要な検討課題であると認識している。仮に美園の県有地に移転となった場合、議員の提案も含め、本庁舎敷地の活用について検討する。



上水道事業の広域化の目指すべき姿について



新井 豪 (自民) 北第1区 秩父市・横瀬町・皆野町・長瀬町・小鹿野町・東秩父村

Q 広域化は、災害時の水の相互融通や料金格差是正などのメリットがある。県は地域格差是正のため広域化にどのように取り組むのか。さらに、業務の共同化や経営の一体化、事業統合といった広域連携の形態も含め、県の広域化の目指すべき姿について、見解を伺う。

A 事業者は地域ブロックごとの会議で検討を重ね、県は推進役として検討の進め方の提案などでサポート。広域化は国主導で加速化する方針が示されている。県は、広域化の取り組みを段階的に実現させ、将来における水道事業の一本化も見据え、広域化を推進していく。

意見書・決議

意見書14件を可決し、国に提出しました。また、決議2件を可決しました。(●は全会一致での可決、○は賛成多数による可決)

- 地方消費者行政の維持強化のため国の財政支援の継続・拡充を求める意見書
- リチウム蓄電池等の適正処理の更なる推進を求める意見書
- 北朝鮮による全ての拉致被害者等の即時一括帰国を求める意見書
- ファシリティドッグの制度整備と導入促進を求める意見書
- 喫煙目的施設の判断基準の明確化等を求める意見書
- 臓器移植の環境整備を求める意見書
- 通信制高等学校の学習等支援施設への通所を通学定期券等の対象とする取扱い継続のための対応を求める意見書
- 警察官の増員を求める意見書

- 警察車両の充実強化を求める意見書
- 外国免許切替制度の早急な厳格化を求める意見書
- 下水道の強靱化予算の確保を求める意見書
- 社会資本施設に起因する事故等発生時における補償制度の構築を求める意見書
- 暗号資産取引に係る課税の見直しに向けた検討の推進を求める意見書
- 新たな障害者就労支援制度の導入を求める意見書
- 道路陥没事故に係る住民・事業者への速やかな補償を求める決議
- 大宮駅東口防犯カメラ整備事業の継続を求める決議



▲詳しくはこちら

シェイクアウト埼玉

県内一斉防災訓練 にぜひ参加登録をお願いします。

大規模な災害が頻発しています。自分自身と大切な人を守るための防災対策が重要です。埼玉県議会では、県民の皆さまの災害への備えと対応力を高めることを目的に毎年シェイクアウト訓練を実施しています。

【短時間で】「誰でも」「どこにいても」できる訓練ですので、是非ご参加ください！

- 実施期間:令和7年8月30日(土)~9月5日(金)
- 実施場所:あなたがいるその場所で



シェイクアウト訓練とは

2008年にアメリカカリフォルニア州で始まった、短時間で、誰でも、どこにいても実施できる防災訓練です。それぞれの自宅・学校・職場などで訓練を実施してください。

シェイクアウト訓練のあとに

<取り組み例>

- 災害用伝言ダイヤル(171)の体験利用
- マイタイムラインの作成
- 避難経路の確認
- ハザードマップの確認
- 備蓄品の確認 など
- 避難場所の確認

プラスワン

参加方法① 電子申請サービスで登録

パソコン・スマートフォンからお申し込み下さい。



参加方法② FAXで登録

登録様式は埼玉県議会ホームページからダウンロードできます。必要事項を記入の上、FAXで送信してください。埼玉県議会事務局総務課 総務・IT・情報公開担当 FAX 048-830-4921

埼玉県議会ホームページ

埼玉県議会 シェイクアウト埼玉 で検索

詳細はこちら

県議会広報テレビ番組 テレ玉(地デジ3チャンネル)

「こんにちは県議会です」

県議会に関するさまざまな情報を分かりやすく紹介しています。番組の最後にはプレゼントコーナーもあります。ぜひご覧ください！

放送予定日

- 主要会派代表者に聞く 8月24日 (10時~10時30分)
- 常任委員会だより 9月21日 (10時~10時30分)

詳しい放送スケジュールは、随時ホームページでお伝えいたします。▶

日曜日 午前10時から



県議会クイズ

ヒント 1面をよ〜く読んでね！

プレゼント 図書カード (1,000円分) 20名様



Q ○○に当てはまる数字は何でしょう。

令和7年6月定例会は6月12日(木)から7月2日(水)までの○○日間にわたり開かれました。

はがきに右記のようにご記入の上、8月21日(木)(当日消印有効)までにお送りください。正解者の中から抽選でプレゼントを差し上げます。当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。対象は、埼玉県内に在住・在勤・在学している方のみとなります。

【個人情報の取り扱い】応募はがきは、抽選とプレゼントの発送以外の目的には使用いたしません。



〒330-9301 埼玉県議会事務局 政策調査課 県議会クイズ係

1. クイズの答え
2. 郵便番号
3. 住所
4. 通勤通学先の市町村名(県外にお住まいの方のみ)
5. 氏名・年齢
6. 埼玉県議会だよりに関するご意見

◀県議会ホームページからもご応募いただけます。



本会議の様子はインターネット中継でご覧になれます。右の二次元コードからアクセスできます。▶▶▶



ぜひ、ご覧ください!!

県議会マスコット「ポッポ」



白土幸仁 議長と 飯塚俊彦 副議長に聞く

政治家を志したきっかけを お聞かせください。

白土幸仁議長… 小学生の頃から歴史が好きで、大学では考古学を専攻していました。歴史に登場する人物は政治家が多く、政治家になることが夢の一つではありませんでした。

大学卒業後はホテルで営業の仕事をしていたが、営業の業務に全力を尽くしながら、若者の政治塾での勉強も始めました。学ぶ中で「若い世代も政治に参画しなければいけない」という意識



白土幸仁議長

飯塚俊彦副議長

最初のきっかけは、中学校3年生の時に生徒会長になったことかなと思います。

社会人になってからは、地元の議員の秘書を務め

ました。議員になるつもりはなかったのですが、結局その議員の支援者の方に応援されて、市議選に出ることになり、現在に至っています。

大切にしている言葉は何ですか？

白土幸仁議長… 特定の言葉はありませんが、臨機応変に、その時その時の自分の立場を踏まえ、適切な言葉を引用して方針を立てています。今年は「石橋を叩く」ということを意識していきたいです。

飯塚俊彦副議長

「座って半畳寝て一畳」という言葉です。私はこの言葉を、自分を過信するでもなく、逆に卑屈になるのでもなく、その時目の前にあることを誠実にこなしてゆくのが大切だという意味で信条にしています。



飯塚俊彦副議長

今後の抱負

白土幸仁議長… まず何よりも、県議会が、その役割と責務を果たすことができるよう、公平・公正で、円滑な議会運営を行ってまいりたいと思います。さらに、「埼玉県こども・若者基本条例」の中でとても大切にしている「こども・若者からの意見聴取」を議会としてしっかり実行していきたいです。県議会では、昨年度から「大学生等と県議会議員との意見交換会」を開催しています。今年度は対象を高校生に拡大して議員との意見交換会を実施するなど、今後も若い世代を対象とした取り組みに力を入れてまいります。

飯塚俊彦副議長… 若手議員やベテラン議員、所属している会派など、県議会議員もさまざまですが、それぞれの地域の代表として議会に参加している点では同じです。県議会で活発な議論が行われるよう、時には自分が緩衝材のようになることも必要だと感じています。議員一人ひとりが十分に力を発揮でき、活躍できるような議会運営を目指してまいります。

委員会 レポート

6月26日に常任委員会を開き、補正予算・条例などの議案の審査などを行いました。審査の結果、議案17件を原案の通り可決・承認すべきものと決定しました。
また、八潮市道路陥没事故調査等特別委員会を27日に、そのほかの特別委員会を30日に開き、付託案件の審査を行いました。

議会運営委員会

6月5日と定例会中の6日間、会議を開き、本会議を円滑かつ効率的に進行するため、議事日程、質疑質問者の人数、採決の方法や順序などについて会派間の協議を行いました。



逢澤圭一郎
副委員長



横川雅也
委員長



権守幸男
副委員長



常任委員会

委員長報告は
こちら



企画財政委員会

「令和7年度埼玉県一般会計補正予算(第1号)」などについて審査

総務県民生活委員会

「職員の育児休業等に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例」などについて審査

環境農林委員会

「令和7年度埼玉県一般会計補正予算(第1号)」について審査
(埼玉県農業支援サービス緊急対策事業費の補正)

福祉保健医療委員会

「埼玉県被保護者等住居・生活サービス提供事業の業務の適正化等に関する条例の一部を改正する条例」などについて審査

産業労働企業委員会

「埼玉県企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例」などについて審査

県土都市整備委員会

「令和7年度埼玉県流域下水道事業会計補正予算(第1号)」などについて審査

文教委員会

「埼玉県立げんきプラザ条例の一部を改正する条例」などについて審査

警察危機管理防災委員会

「警察官に対する給貸与品に関する条例の一部を改正する条例」などについて審査

議員提案

令和7年9月1日 施行

「埼玉県被保護者等住居・生活サービス提供事業の業務の適正化等に関する条例の一部を改正する条例」が可決されました

令和7年4月1日に施行された社会福祉法の一部改正を踏まえ、主に生活保護を受けている方を入居させ、食事などの生活サービスを提供する業務に関し、法律が対象としていない入居定員が2人から4人の施設についても、法律と同様に、必要な届出を行わなかった場合などに罰則が適用されます。

条例の詳細は
こちら



特別委員会

委員長報告は
こちら



自然再生・循環社会 対策特別委員会

自然環境の保全・再生について審査

地方創生・行財政改革 特別委員会

地方分権改革、魅力ある地域づくりについて審査

公社事業対策 特別委員会

県の公社指導について、(株)さいたまアリーナ、(公財)埼玉県公園緑地協会、埼玉県住宅供給公社における改革の取組について審査

少子・高齢福祉社会 対策特別委員会

障害者への支援について審査

経済・雇用対策 特別委員会

埼玉県経済の動向と経済・雇用対策について審査

危機管理・大規模災害 対策特別委員会

災害に強い県土づくりについて審査

人材育成・文化・スポーツ 振興特別委員会

教育改革について審査

八潮市道路陥没事故 調査等特別委員会

「事故対応及びこれまでの工事の経過」「今後の復旧工事」「振動・騒音、臭気等の環境対策」「地域住民への対応状況」「補償の方向性について」審査

八潮市道路陥没事故調査等特別委員会 委員名簿

委員は次のとおりです。定数14人（◎は委員長、○は副委員長）
令和7年7月23日現在

◎宇田川幸夫（自民）	松坂喜浩（県民）	橋詰昌児（公明）
○逢澤圭一郎（自民）	木下博信（自民）	町田皇介（民主フォーラム）
渡辺聡一郎（自民）	藤井健志（自民）	荒木裕介（自民）
細川 威（民主フォーラム）	美田宗亮（自民）	小島信昭（自民）
伊藤はつみ（共産党）	松澤 正（自民）	

この広報紙は、点字版とデージー版(音声のみ)も発行しています。
ご希望の方は県議会事務局政策調査課広報担当(TEL.048-830-6257)にご連絡ください。